

個々が輝く**魅力人**たれ!!

～内なるパワーを解き放ち、未来の道を切り拓こう～

卒業

2 0 1 1

知新

2011年度
社団法人 **西宮青年会議所**

JCI  Junior Chamber International Nishinomiya



第61代理事長

鳴見裕貴

中だけに留まらず、あなた自身がこれまでに得た経験を自分の住まう地域に還元し、街の方々から頼られる存在でなければならぬという思いで、私の所信に記述させて頂きました。また、メンバーの皆様が魅力ある人になってこそ我々の団体もさらに魅力を増し、もっともっと大きな輝きを放つ事ができるのです。

この2011年度は様々な事がありました。兵庫ブロック協議会の会長輩出、8月6日の近畿地区大会西宮大会の主管、また3月11日には東北で大地震が発生しました。その様な中、LOMとして会員の拡大に力を入れると共に、メンバーの皆様には青少年やまちづくり事業などの活動にも積極的にご参加頂きました。最後になりますが、LOMメンバーの皆様には心から感謝申し上げ、西宮青年会議所 第61代理事長としての挨拶に代えさせて頂きます。

一年間、皆様と共に活動できたことは私の一生の宝です。ありがとうございました。

2011年度を終えて ご挨拶・卒業生に贈る言葉

2011年度は、「個々が輝く魅力人たれ!!」～内なるパワーを解き放ち、未来の道を切り拓こう～というテーマ・スローガンを掲げ、運動を展開して参りました。一年間、皆様と共に活動できたことに対し、深く感謝申し上げます。

また卒業生の皆様には、長年のJC活動を全うされました事に、心から敬意と感謝を述べさせて頂きます。本当にお疲れ様でした。今日までこの西宮青年会議所が存続しているのは、これまでご卒業された先輩方の大きな功績です。脈々と受け継がれてきた我々のアイデンティティを、卒業される皆様からの遺産としてこれからも大切に、次の時代にしっかりと継承して参ります。

時代は目まぐるしく変化しています。しかし、我々がやらなければならない事は、いつの時代も明るい豊かな社会の実現です。この大きく崇高な理念がある限り、我々は日々研鑽し、友情を育み、これからもまちの為に確かな一歩を踏み出す事が出来ます。本年度のテーマである「個々が輝く魅力人たれ!!」とは、そんな素晴らしい団体に所属している我々だからこそ、この団体の

監事講評



監事

平田裕之

1年を振り返って

9年間、社団法人西宮青年会議所に所属させて頂きましたが、本年は60周年を終えた翌年の大きな節目を迎えた、まさに変革の1年でした。会員拡大に関しては、年会費を初年度無料という大きな改革を行い、全国の青年会議所からみてもすばらしい会員拡大を成功させ、公益法人改革に伴い、メンバーで運動を確認し、一つの方向性を導くことが出来ました。

さらに40年ぶりに近畿地区大会西宮大会を主管し、メンバーの結束力を高め、未来の道を切り開く、魅力あるメンバーとして、諦めることなく奮闘努力致しました。結果、皆さんの思いが一つになって、このすばらしい1年を築きあげる事が出来たのではないのでしょうか。その誇りを胸に、さらに地域に必要とされる団体となって飛躍させて参りましょう。

最後に、卒業年度に監事としての役職を全うすることが出来たこと、メンバーの皆さんに感謝すると共に御礼を申し上げます。一年間本当に有り難う御座いました。



兵庫ブロック協議会 会長

平山伸吾

2011年度 卒業生に贈る言葉

もしもあなたが、JC を選択していなかったら・・・、
 大切な 30 代の時間とお金は何に使っていたのでしょうか。
 JC での出会いに代わる出会いはあったのでしょうか。
 よろこびや悔しさのあまりに泣く機会ってあったのでしょうか。
 他者や公のために全力を傾けることはあったのでしょうか。
 人を認め考え方に衝撃を受ける機会がありましたか。
 本当の意味で信用する人に巡り合っていたのでしょうか。
 今の考え方、今の生活、今の自分がありましたか。
 どんな 40 才を迎えていましたか？

途中で辞めた人も、やりたくてもできなくなった人もいます。しかし、あなたは皆の祝福のもとゴールを迎えました。周りや環境に恵まれていただけではありません、自分自身が強くなっていくのです。今まさにそれを示しているのですよ。JAYCEE である前に、人として両親や家族に感謝し、会社に関わるすべての人に感謝することを忘れてはいけません。そして、それをカタチに表す事を今からやらなくてはいけません。

まだ 40 歳じゃないですか、現役の期間は長くても 10 年程度。考えてみれば OB を名乗る期間の方が長いのですから時間はたっぷりあります。あなたは人よりも時間の使い方やつくり方、物事のこなし方がうまくなっています。自分では気づいてないと思うけど。しかも、まだまだ体も動き頭も回転します。40 才卒業には意味があるのです。

現役は、あなたが「西宮 JC の OB です。」と誇りを持って言える団体としてあり続けます。

今日までの色々にご苦労ございます。今日までの色々にお疲れ様です。

どうですか？ JC を選んだ自分に納得し、今日を迎えたこと誇りに思いますか？

ひらっち、畑君、登志郎君、山岡君、河合ちゃん、西君、山下君、床次君、東耕ちゃん、これからも西宮 JC を、現役会員を宜しくお願いします。



社団法人 西宮青年会議所
第 62 代理事長予定者

吉岡政和

卒業される皆様の真理への船出に 高らかに銅鑼を鳴らしましょう!!

卒業されるメンバーの皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様が得た JC 活動を通しての成果を今後の人生に活かして頂き、一度しかない人生を素晴らしいものにして下さいますよう心よりお祈り申し上げます。

ここ数年は 60 周年記念式典や近畿地区大会西宮大会など西宮青年会議所にとって激動の時代を、その中心としてご活躍されたことに、敬意と感謝の誠をささげたいと存じます。孔子の論語において「40 にして惑わず」というフレーズがあります。西宮青年会議所で培われたものを糧に、惑うことなく 40 歳代を生き抜かれて 50 歳には天命を得られることを、私たち現役メンバーは信じて止みません。

皆様ご卒業後も現役メンバーは力を合わせて、先輩方の築き上げられた西宮青年会議所の看板をしっかりと守り抜く所存です。どうか卒業されてからも私たち現役メンバーに対して、温かいご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。お疲れ様でした。



卒業生

お世話になりました。

2006年に入会して、運営幹事、鳴見委員長セクレタリー、兵庫ブロック委員出向、広報渉外委員長、そして今までの自分のキャラクターでは有り得なかった入会当時、流行っていたパラパラをコリキに仮想して11月度例会懇親会で披露するなど様々な経験をさせていただきました。しかしながら、仕事・プライベートと大変な時期がありJC活動に積極的に参加できなくなる状態になり正直、休会・退会も考える

2006年入会

山岡 永治 君

までになり退会届まで預かりました。そんな私が卒業を迎えることが出来たのは、お世話になったメンバー（とりわけ同期の仲間そして入会年度の会員拡大委員長であり卒業年度の理事長である鳴見理事長）の言葉でした。今、振り返ると“辞めてしまう”のは簡単な事でしょうが“辞めてしまう”とこれからの人生で取り返したくても取り返せない後悔をすることになったと思います。それを気づかせていただいた皆様に感謝の言葉しかありません。卒業年度の新会員の11月度例会の懇親会を含めた完成度の高さに次年度以降のメンバーの皆さんの活躍を確信しつつ、歴史ある西宮青年会議所のメンバーとして、卒業できることを誇りにしたいと思います。ありがとうございました。

現役生

山岡永治君に贈る言葉

八木 保彦 君

まずは、御卒業おめでとうございます。

2006年に同期入会して以来、山岡君とは何かと一緒する機会が多かったですね。2年目には会員研修委員会で運営幹事として選出され、同期の私に声を掛けて誘ってくれたりという事もありましたよね。おかげで楽しい委員会になり、色々な意味で思い出に残る年となりました。特にこの年の打上旅行の熊本では、人には言えない様な体験も沢山しましたね。JCならではの経験ということもあって、その当時の記憶が甦ってきます。3年目の2008年には山岡君は広報渉外委員会の委員長として、私は総務委員会副委員長として同室になりましたが、委員長として、私生活でも大変な中、きっちりしっかり仕事をこなしておられたのがとても印象的です。2009年、2010年は例会で顔を合わす程度になりもしましたが、最終年度に御一緒できて本当に良かったと思います。私にとっては良き兄貴として、山岡君がご卒業されることは正直寂しく思います。されど40歳になられた訳です。山岡君の門出を祝してエールを送りたいと思います。おめでとうございます。



卒業生

お世話になりました。

卒業を迎えるにあたり全てにおいて感謝の気持ちでいっぱいです。

今思えば、なんとなく始まったJC生活ではありますが、山あり谷ありと自分では経験したことのないスピードで突っ走った思いです。常に同期メンバーに助けられ、先輩に優しくたっぷりで怒られ、委員会メンバーには厳しく突き上げられながら支えられ、卒業を迎えることができました。毎年、様々な委員会や出向を経験させていただく中、なぜ事業が終わる時、年度が替わるとき、泣けるほどに熱くなるのか、自分でも不思議でした。「これがJCなのか？」今の私には答えは出ていませんが、少なからず、この世間からは少々異空間ともいえるJCに身を置かせていただいている証なのかと感じています。

2008年入会

東耕 功 君

ただ、この少ないJC歴の私にも言えることは、わからないから次が楽しいのであって、前を向き山を登るからこそ、一層高い目標を発見出来るということです。そこに新たな喜びが生まれてくるのだからJCでたくさん学ばせていただきました。

現役メンバーとしては本年をもって終了ですが、常にすばらしい現役西宮JCメンバーがここにいるということを胸に秘め、西宮JCOBであることを誇りに、日々精進していきたいと思っています。

私のJC生活は、本当に充実した日々であり、掛け替えのない時間となりました。全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

現役生

東耕功君に贈る言葉

山口 真一郎 君

最終年度は、兵庫ブロック財政局長として本当に忙しく、充実した日々を送られましたね。ご苦労様でした。東耕さんには、私が2年目の時に、地区大会準備特別委員会の運営幹事としてお声掛けいただき、泉佐野の地へ何度も一緒に行きましたね。忙しかったけど、たくさん仲間もでき、本当にたのしいJC生活を送らせてもらいました。今年も担当ではないのに、西宮地区大会開催においてたくさんアドバイスをもらい感謝しています。事務所で夜遅くまで作業したこと。委員会のあとの長時間にわたる懇親会（笑）地区大会の委員会から外れることが決まって、二人でくやしがつたファミレスでの夜。今年の兵庫ブロックでの活動。どれもが、僕にとって最高の思い出です。卒業しても、家族ともどもお付き合いよろしく願いいたします。功君の卒業は、本当に悲しいぞ！次年度の例会100%出席をよろしく願いします。



卒業生

私と JC

遂にこの文章を寄稿する時がやってきました。2003年に入会してから、9年間の在籍となり無事に卒業を迎えることが出来ました。今までご支援いただきました、先輩並びにメンバーの皆様へ感謝申し上げます。

「ほんと JC 好きですね。」って良く言われるのですが、なぜそうなったのか書いてみることにします。思いおこすと、サラリーマン時代を終え現在の会社に入社し、何度も先輩に JC に勧誘されながらも断り続け、軽い気持ちで3年目に入会し、新会員時代は、沢山の人の出会いがあり、先輩にご馳走になり、楽しい会というイメージでした。

以降、拡大委員長、BL 委員長、そして結婚、長男の誕生、人生の節目を JC と共に過ごす事になり、そのころから、「何とか時間を作れば何かがある。」と思うようになりました。

2003年入会

平田裕之君

また卒業生の言葉で、「もう少し頑張れば良かった。」と話されて卒業するシーンを見聞します。私は、活動する上で最後にはその言葉を発しないようにと考えながら、活動する様になりました。

そこからまた違った、楽しさだけではなく、辛いことも、逃げたくなることも沢山あったのですが、諦めず乗り越えようと、何ともいえない感動と充実感を味わうことが出来ます。その虜となったのでしょう。気がつけば、全ての役職を拝命いただき、日本 JC にも出向させて頂き世界に全国の沢山の友人を作ることが出来ました。

JC でしか出来ない貴重な体験を、共に活動頂きました皆様へ感謝申し上げます。そして今後とも宜しくお願い致します。

以降、拡大委員長、BL 委員長、そして結婚、長男の誕生、人生の節目を JC と共に過ごす事になり、そのころから、「何とか時間を作れば何かがある。」と思うようになりました。



卒業生

お世話になりました。

2007年7月に入会し、約5年間 JC 活動をさせていただきました。最初は「肌のあわない団体やなあ…」ってのが本音でした。同期に恵まれ一年目は楽しく過ごせたのですが、2年目はどうしようかと迷いながらのスタート。そこで吉岡政和という男と出会い、この男に JC 活動が続けられるなら俺にも出来ると確信。3年目は津久井進。4年目は小林望。と毎年気の合う仲間めぐり合うことが出来ました。5年

2007年入会

西裕照君

目の最終年度には拡大交流の委員長をさせて頂きました。委員長を引き受ける一つのきっかけが兵庫ブロックで出会った人達です。こういった人との出会い、色々な経験、これが JC の醍醐味なのかと痛感させられました。一番の経験はやはり今年の委員長経験です。

諸先輩方の温かい支援、スタッフの協力、新会員の頑張り、すべてが感動と感謝の経験でした。西宮青年会議所に属せた事を心から感謝します。ありがとうございました。

現役生

平田直前理事長に贈る言葉

遠藤 剛君

平田さんとは、2005年に拡大委員長として担当して頂いて以来、JC 生活の中で濃い JC 生活を共に歩ませて頂きました。2006年度の兵庫ブロックのセクレタリー、2010年度におきましては、平田理事長のもと総務委員長もさせて頂きましたし、担当ラインや市民祭り実行委員会などでよく面倒をみて頂き、本当に感謝しております。JC 大好きな平田さんの活動について行くのは大変な事もありましたが、様々な経験をさせて頂き、また沢山の事を学びとる事ができました。おかげで平田さんが担当した2005年度入会メンバーより次年度予定者の私を含め専務理事が3名も誕生する運びとなりました。皆が平田さんの JC に対する熱い思いを知り、背中を見て育ったおかげであると思います。卒業されてからも多方面で活動される事と思いますが JC の後輩指導も視野に入れて頂き、ますますの発展と活躍を期待しております。突っ走った JC 生活、本当にお疲れ様でした。

現役生

西兄貴に贈る言葉

北本 宝君

西さん、ご卒業おめでとうございます。思い返せば西さんとの思い出は、全てが印象深いものばかりです。出合いは、SA でアノ車がひく気で突っ込んで来たりとか、新会員の時、夜にいきなり呼び出されたりとか、当時は、本当に怖かった・・・

その中でも絶対に忘れられない思い出は、西さんが吉岡さんの筆頭セクレタリーを務めた、「10 Team 吉岡」。みんなで乗り込んだ兵庫ブロックは本当に楽しかったですね。

僕がセクレタリーでありながら免停になってしまい、西さんに豊岡までの運転をお願いした時、西さんは嫌な顔一つせずに「いいよ」と引き受けてくれましたね。僕は、その懐の深さを見た瞬間、西さんの男気に惚れてしまいました。JC 在籍中は、なかなかお供する事が出来ませんでした。西さんは永遠に僕の「兄貴」です。こんなダメダメな弟ですが、卒業してからもずっとずっと可愛がってくださいね。

ご卒業おめでとうございます。



2007年入会

河合将人君

理解する為努力すると、無知を隠すのに精一杯頑張り、あつと言う間に1年間が過ぎました^_^; また、出向メンバーとも本当に楽しくJC生活を送ることが出来ました。少し寂しい想いを心に秘め、卒業させて頂きます。

まだ、ダラダラJC活動してる方は、この人なら・・・と言う人を決め、半年で良いから必死でやってみるべきやと思う。それでも、あかんかったら辞めたらええやん。任意の団体なんやし・・・。ホンマは、もうチョイJCしたいけど卒業せなあかんので・・・。

今までお世話になりました諸先輩方・同期メンバー・後輩メンバーの皆様、本当に本当に有難うございました。

卒業生

お世話になりました。

2007年に入会以来早いもので、もう5年も経ちました。入会当初、同期メンバーとはすぐに馴染めましたが、行事・例会等では「何やネン、このお堅い集団は！もっと普通に話した方が分かり易いんちゃうん。」と常に思いながら、ダラダラ参加してました。しかし、最終年度の今年は違いました。入会以来、真面にJCの事も理解してないこの私に、兵庫BL平山会長から事務局長と言う大役を任命して頂き、必死で理

現役生

河合将人君に贈る言葉

大迫康二君

2007年、入会式で初めて出会い、お互いたどどしく挨拶を交わしたのが嘘みたいです。その時はお互いこんなに仲良くなれるなんて想像もできなかったし、5年間ずっと一緒にガッツリJCをするなんて夢にも思わなかったですね。

1年目、委員会がない日でも、大阪のとあるVIPルームでバカ騒ぎしました。

2年目、平山副会長セクとして、植松ちゃんと3人で沢山JCを学び、沢山遊びました。

3年目、初委員長の僕を副委員長として支えてくれ、09メンバーの兄貴分として最高のフォローをやってのけました。

4年目、「辞める！もしくは休会する！！」と言って聞かなかったけど、「俺専務するから、うちのラインで残ってや、太郎に取ってもらおうから」とお願いすると、広報事務局で残ってくれて、律儀に例会は皆出席してくれました。

そして5年目。河合ちゃんがブロック事務局長じゃなかったら、俺もここまでできてないよ。

男・河合将人と出会わせてくれたJCに感謝です。共に過ごせた5年間の運命に感謝です。入会以来ずっと一緒にいた河合ちゃんが卒業するのは何とも寂しい限りですが、悔いを残すことなく走り続けた河合ちゃんの卒業を心からお祝いし、一生のお付き合いをお願いして、贈る言葉とさせて頂きます。

ひとまずは普通のペンキ屋の兄ちゃんに戻って、ハードな5年間の疲れを癒し高売に専念して下さい。



2007年入会

山下 洋君

に卒業することが出来ました。

同期メンバー、先輩、後輩たちいろいろな人たちに巡り会えて本当に楽しかったです。

最後に現役メンバーの皆様、後悔しないようJCライフを思いっきり楽しんで下さい。

5年間お世話になり、本当にありがとうございました。

卒業生

お世話になりました。

2007年6月に入会し、長かったような短かったような5年間でした。入会した当初は、「何だ！この団体わあ！」と思いました。

しかし、訳も分からずいろんな事業に参加し、月日を重ねるごとに「この団体以外におもしろいかもしれん」と感じるようになりました。

今年に入り、公私共にいろいろあり吉岡常任、西委員長、多久和ちゃんには大変ご迷惑をお掛けしましたが無事

現役生

山下洋君に贈る言葉

加藤健二君

キングこと山下副委員長とはじめてお会いしたのは、ちょうど一年前の拡大交流委員会の顔合わせ。

JCルーム近くの居酒屋「参Q」だったでしょうか？

委員長とコンビで歩く姿は、本当にカタギには見えす少し戸惑いました(笑)。しかし、素顔のキングは、

おおらかで、優しく、素晴らしい人でした。いつも心配性の私をよそ目に「カトちゃん、何とかなるよ！

わっはっは！」と大声で笑い飛ばし、肩ひじ張らないJC活動の仕方をその身をもって教えていただきました。

また、あなたの食欲にはいつも驚かされっぱなしでした。細身ながら、2011拡大ライン3大横綱をはるかに凌ぐ大食漢。その割に居酒屋で注文するドリンクは、いつも「コーラ」・・・決して多くを語らないのに懇親会では圧倒的存在感でした。

卒業してもキングはキングのままでいてください。でも食べすぎには気をつけて！

追伸：キングの愛称の由来、「大食いキング」だとばかり思っていました・・・



2003年入会

畑 邦樹君

卒業生

お世話になりました。

2003年10月に入会致しました。最終年度に休会してしまいましたが、西宮JCに入会して本当に良かったと思っております。ゴルフやスポーツイベントしか参加していませんでしたが、楽しい思い出ができました。現役メンバーの皆様は、仕事とJC活動を両立させ、西宮JCの伝統を守り、悔いの残らないよう精一杯JC活動を楽しんでいただけたらと思います。

最後になりましたが、今までJCで関わって頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

現役生

畑邦樹君に贈る言葉

川崎孝広君

畑さん ご卒業おめでとうございます。03拡大委員会の時、11月例会の漫才を覚えているでしょうか。8月に入会した私はJCそのものが不明の中、有住先輩からはじまったコンビで漫才をやるのかの一言で決定したJ1グランプリ。畑さんと私のコンビでした。人間関係もままならない状態での意味の分からない漫才を練習する中、おっさん同士の友情が芽生えたあの時は複雑な気持ちでした。例会や事業で会うと、久しぶり。ちゃんとJCやってる？の上から目線の挨拶が決まり文句でしたが、畑さんに限りいい勝負をしていたんではないかと感じています・・・

畑さんという時は正直学生時代の先輩後輩の感覚で、個人的にはかなりリラックスしておりましたが、そんな方が卒業でいなくなるのも寂しいばかりです。お仕事も忙しくされているようですが、お体には十分気を付けてください。そんな年ではないでしょうか(笑)。また、どこかで会える日を楽しみにしていますよ。



2004年入会

石井登志郎君

卒業生

お世話になりました。

「青年会議所というところは、それぞれが普段まとっている上着を脱ぎ、裸と裸の付き合いをする場です。石井君も色々なものをしょいながら毎日を過ごしているでしょうが、ここでは、一人の人間として、JCと、仲間と裸でつき合ってください。」

入会面接の際の、竹内博理事長(当時)の言葉です。これは印象的だったな。確かに、どこかの学校出て、どこの会社勤めて、どんな仕事して、それが大切ではないとは言わないけど、それ以上に大切な「素(ス)」の自分を出すこと、出せること、裸の付き合いが出来ること、これがJCの一番の魅力だと思います。騙されてセクレタリーと言う名の運転手やられるのもJC、訳わからんまま委員長やって人生の経験値積めるのもJC、学校の同級生のように貸し借りない関係で酒が飲めるのもJC。どうぞ皆さん、今後もあちらこちらに出没しますが、心の着物を脱ぎ去ってこれからも裸の付き合いをよろしくね!

現役生

石井登志郎君に贈る言葉

隔山泰久君

登志郎さん、ご卒業おめでとうございます。2007年に石井委員長のもとで運営幹事を務めさせていただいてからのお付き合いですね。JC歴が3ヶ月しかない私にとって非常に楽しくも学びのある1年であったことを覚えています。今思えば私のJCスタイルもこの時にできたのだと思います。それから「ちょっと手を貸して」とか、「かくやまくん、教えてほしいんだけど」なんていう電話をよく頂きました。インターネットの話やカメラの話など時には〇〇の話まで(そういえば政治の話はなかったな〜)なんで私に聞くんやろう?と思いながら。少しは頼りにしていただいていると思います、きちんと説明させていただきます。卒業後もたわいのない質問、いつでもお待ちしております。というか時々電話くださいね。

「登志郎さん、ご卒業本当におめでとうございます。」



2007年入会

床次一志君

卒業生

お世話になりました。

2007年1月に入会させていただいてから、早いもので5年の月日が過ぎ、この度卒業を迎えることとなりました。

在籍させていただいたこの5年間、仕事との折り合いをうまくつけることが出来ず、残念ながらあまりJC活動に参加することが出来ませんでした。各年度の委員会のメンバーの皆さんには、迷惑ばかりおかけしていたと思います。そんな僕が、卒業することが出来るのも、ひとえに西宮JCの皆さんの温かいご理解があってこそと感謝しております。

少ないながらもJCならではの貴重な体験、素敵な出会いをさせていただいた西宮JC、そんな皆様の益々のご活躍を心よりお祈り致しておりますと共に西宮JCに所属させていただいた事を誇りに思い、また感謝申し上げます。

現役生

床次一志君に贈る言葉

嶋岡 毅君

卒業おめでとう。07年に入会して以来、はや5年の歳月が過ぎましたね。同期として同じ1月に入会し、右も左もわからずスタートしたJC活動ですが、あっという間にもう卒業ですね。我々07同期の思い出はたくさんありますが、JC活動はさておき、率先して開催したゴルフコンペの仕切りは完璧でした。一番輝いてたと思います(笑)今年度は、床次ちゃんを含め、4人の同期が卒業し楽しみになりますが、まだまだ隠居させないのでそのつもりでいて下さい!残りの三人の同期メンバーが全員卒業するまでは見守るように!JCに入会していなければ、我々が会うこともなかったと思うとすごい縁だと思いますので、このご縁を大切にこれからもよろしく。長い間のJC活動お疲れ様でした。今後も床次ちゃんの更なるご活躍を祈念しまして送る言葉と致します。卒業おめでとう!

2011年度 西宮青年会議所の活動

1月	 新春賀会	5月	 ASPACマラソン大会	8月	 近畿地区大会 西宮大会 式典	10月	 全国大会 名古屋大会
	 京都会議		 AOPAD近畿大会		 近畿地区大会 西宮大会 式典		 ジュニアタカワミーティング
2月	 京都会議	6月	 阪神7JC 合同事業	9月	 近畿地区大会 西宮大会 大懇親会	11月	 阪神7青年会議所合同例会
	 2月度例会		 阪神7JC 合同事業		 近畿地区大会 西宮大会 大懇親会		 11月度例会
3月	 3月度例会	7月	 6月度例会	10月	 近畿地区大会 西宮大会 大懇親会	11月	 11月度例会
	 公開討論会		 サマコン		 8月度例会		 11月度例会
4月	 募金活動	8月	 サマコン	11月	 9月度例会	12月	 11月度例会懇親会
	 4月度例会		 7月度例会		 全国大会 名古屋大会		 芦屋 JC との交流事業
5月	 5月度例会		 近畿地区大会 西宮大会 式典		 全国大会 名古屋大会		 芦屋 JC との交流事業